

幸せの歌



宗谷南農業協同組合
第9回通常総会の様子

J A 宗谷南

2018NEN
6GATUGOU
～SEASON63～

第9回

通常総会

開催

5月24日、枝幸町中央コミュニティセンターで、出席者125名（本人出席62名、委任状出席19名、書面議決書出席44名）の中、宗谷南農業協同組合第9回通常総会が開催されました。



5月24日、枝幸町中央コミュニティセンターで宗谷南農業協同組合第9回通常総会が開催されました。

始めに物故組合員役職員へ向け黙祷を捧げ、JA綱領を朗唱し、激励状贈呈及び良質乳出荷者表彰の授与が行われました。

激励状贈呈では、昨年新規就農された米田徹さんと風烈布の梶野道雄牧場の後継者で梶野利規さん、また今年新規就農する、川上雅弘さんがそれぞれ連合会を代表し、JA北海道中央会旭川支所長縄支所長より授与されました。また、川上雅弘さんには、新規就農誘致特別措置要領により、乳牛購入代金として100万円の目録が向井地組合長から手渡されました。

良質乳出荷者表彰では、西塚勉さん（当日欠席）、菅原一人さん、廣川拓也さん3名が表彰されました。

開会挨拶で向井地組合長は、平成29年度の生乳生産量は98.2%に留まったが、個体販売の高値安定等により組合員の所得は良好で終えた。しかし農協合併時の目標である出荷乳量6万tを達成すべく今後も新規就農者の誘致や、規模拡大・増産体制に対する基盤整備等については積極的に支援していきたい考えを述べました。

その後、来賓のご祝辞を頂き、来賓紹介、祝電披露を行い議長選出へ進みました。



議長に選任された、辻裕三さん



JA北海道中央会旭川支所 長縄支所長



議長選出では、辻裕三さん（株）エルムデールファーム代表（取締役）が選任され、議案第1号、定款の一部変更についてから始まり、議案第8号まで全て承認されました。報告事項終了後、議長退任挨拶で、辻議長は、「自分と同じ世代の経営者が増えてきている中、今の恵まれている酪農情勢にどこか甘えている部分があり、自分もその一人であります。今よりも厳しい時代を乗り越えてきた先輩たちは、この恵まれた酪農情勢を危惧している方も少なくありません。これから若い世代を育てていかなければならない自分たちは、厳しい時代を乗り越えてきた先輩たちの意見を謙虚に受け止め、これからの自分たちの成長につなげ、頑張っていきたいので、今後ともよろしく願います。」と述べられました。

最後に、JA北海道大会決議事項の確実な実践に関する特別決議案を寺前参事が読み上げ、満場一致で採択され総会は終了しました。

表彰者紹介

激励状表彰

風 烈 布

米 田 徹 さん

（平成 29 年 6 月就農開始）

風 烈 布

梶 野 利 規 さん

（平成 30 年 1 月就農開始）

音 標

川 上 雅 弘 さん

（平成 30 年 10 月就農開始）



奥から、
米田徹さん、梶野利規さん、川上雅弘さん

良質乳出荷者表彰

岡 島

西 塚 勉 さん

歌 登 中 央

廣 川 拓 也 さん

歌 登 本 幌 別

菅 原 一 人 さん



奥から、
廣川拓也さん、菅原一人さん

農業振興や

国際経済交流に

枝幸町へ寄付

6月1日、農業振興に2000万円、国際経済交流に200万円として、計2200万円を枝幸町へ寄付を行いました。

向井地組合長と寺前参事が枝幸町役場を訪れ、村上町長へ、「今後の地域農業振興の為、又、外国人技能研修生の受け入れを始めとした国際経済交流に使って頂きたい」と目録を向井地組合長より手渡しました。

村上町長は「昨年に続き、国際経済交流の寄付も頂き、ありがとうございます。有効に活用させて頂きます」とお礼を述べられました。



右から今井副町長、村上町長、向井地組合長、寺前参事

4月23日、ホテルニュー幸林にて、新規就農者・就農希望者が系統機関と意見交換会を行いました。

新規就農者は、石田幸也さん、廣川拓也さん、菅原一人さん、米田徹さんと、今年就農する川上雅弘さん夫婦が出席し、現在就農へ向け研修を行っている、井出康太さん、孫叡さん夫婦、中新井田光さん、深田雄也さんと、将来就農を考えていて酪農ヘルパー利用組合で働いている、小野寺ゆきこさん、長谷川泰斗さん、後藤新さん、山本稜さんが参加しました。

始めに向井地組合長より、新規就農に当たり大事なことは、地域との連携であり協調性を何より大事にして頂きたい。また就農してからは奥さんや、子供達がやりがいがあると思えるような経営スタイルを作り、「魅せる酪農」を是非行って頂きたいとエールを送りました。

続いてホクレン稚内支所吉田支所長から、系統推進の中で、ホクレン事業改革プラン及び販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営を基本戦略とし、生産性の向上かつコスト低減をテーマに重点的に取り組んでいる所であり、この意見交換会が今後の営農活動に対し有意義になるようお願いし、挨拶としました。その後ホクレン各課から、事業内容の詳細な説明があり意見交

新規就農者及び就農希望者と 系統機関との意見交換会

換会へと進みました。

まず川上さんから「土壌診断の適切な時期はいつか」に対し、ホクレン稚内支所生産資材課内山課長より、「堆肥を含めた、施肥の影響を受けにくい時期、早春や牧草収穫直後等が適切な時期で、粗飼料分析や土壌診断の分析結果を元に最適な肥料を選定する事が大事」というアドバイスを頂きました。時間の都合上食事をとりながらの意見交換が続く、「省力化を行う方法は」、「就農するに当たり必要な機械は」、「現在行っている補助事業は今後も続くのか?」、「枝幸で生産された牛乳はどうなるのか?」など基本的な事から専門的な事まで様々な質問が飛び交い有意義な意見交換会が出来たと思います。

閉会の挨拶では、ホクレン稚内支所営農支援室佐藤聡浩室長より、今回の意見交換会は、皆様にとって大変有意義なものになったと思いますが、私にとっても大変参考となる意見交換会でありました。また北海道酪農は自給飼料を収入に代えるという基礎があります、ホクレンにとつての基礎は皆様でありますので、これからも皆様と同じ目線で、事業等に取り組んでいきますと、意見交換会を締めくくりました。



2018道北B & Wショウ

5月12日、ホクレン豊富地域家畜市場にて、道北ブラック&ホワイトショウが開催されました。

審査員に岩田政彦氏（北広島市・酪農家）が、デイリークイーンには、当農協の営農課西本係が選任され、宗谷・留萌管内より94頭、当農協からは、6戸12頭が出品されホルスタインとしての資質を競いました。

1部で、小椋義則さん出品の「オムラ フジサン ブラック ET」が一位、2部で、高橋慶大さん出品の「ボールスター ダイヤモンドバック エモリー」が一位、内田喜久男さん出品の「ハッピーライン エジプト チップ」が二位、3部で小椋義則さん出品の「オムラ ドーマン エミール」が三位、10部で、関口真也さん出品の「M. F トライユーン チップ」が二位とそれぞれ上位入賞し好成績を収めました。

また、グラントチャンピオンには、豊富町の栗城一貴さん出品の「エッセンス ウインドブルック ゴールド アポロ」、ジュニアチャンピオンには、幌延町の無量谷裕さん出品の「ノースフィールド ウイルキエブルック ET」が輝きました。



デイリー
クイーンの
西本さん

2018年道北ブラック&ホワイトショウ結果（JA宗谷南）

部	出品番号	名 号	生年月日	出品者	順位
1部	104	オムラ フジサン ブラック ET	H29.10.2	小椋 義則	1位
	106	ボールスター ダイヤモンドバック エモリー	H29.9.26	高橋 慶大	6位
2部	227	ボールスター ダイヤモンドバック デリア	H29.6.7	高橋 慶大	1位
	208	ハッピーライン エジプト チップ	H29.7.19	内田 喜久男	2位
	222	マドアー ソロモン クレアレット シルキー ET	H28.6.27	赤坂 一弘	5位
	218	ロング メリブラ コットン	H29.7.2	内田 喜久男	6位
3部	312	オムラ ドーマン エミール	H29.3.31	小椋 義則	3位
4部	406	マドアー ダイヤモンドバック ジェシカ	H29.1.25	赤坂 一弘	4位
	410	JC モントレー ロブスト シヤーレツティ	H28.12.20	澤田 和人	6位
8部	804	M. F ロベル コントラスト	H27.10.23	内田 喜久男	9位
10部	1006	M. F トライユーン チップ	H26.7.25	関口 真也	2位
11部	1105	ハッピーライン アメイジング エッセ	H26.1.5	内田 喜久男	6位



出品番号104



出品番号227



出品番号208



出品番号312



出品番号406



出品番号1006

グラントチャンピオン：「エッセンス ウインドブルック ゴールド アポロ」 豊富町 栗城 一貴
ジュニアチャンピオン：「ノースフィールド ウイルキエブルック ET」 幌延町 無量谷 裕

2018北海道B & Wショウ

5月26日、27日、安平町の北海道ホルスタイン共進会場にて北海道ブラック&ホワイトショウが開催されました。

今年は過去最高の270頭の出品があり、枝幸町からは6頭が出品され、日頃の乳牛改良の成果を競い合いました。審査員には、共進会認定審査員の福屋栄人氏を招き審査が開始されました。

審査の結果、グラントチャンピオンには北広島市の岩田政彦さん出品、「グラントデールアストロルデイーロイ」、リザーブグラントチャンピオンには清水町の（有）田中牧場出品、「インビジブルファイバーレイブン」が選ばれました。



審査員
恵庭市 酪農家
福屋 栄人 氏



↑第11部 第5位

2018年北海道ブラック&ホワイトショウ出品牛（JA宗谷南）

部	名 号	生年月日	出品者
1部	オムラ フジサン ブラック ET	H29.10.2	小椋 義則
2部	ハッピーライン エジプト チップ	H29.7.19	内田 喜久男
	ボールスター ダイヤモンドバック デリア	H29.6.7	高橋 慶大
3部	オムラ ドーマン エミール	H29.3.31	小椋 義則
8部	オムラ ヒル アンドリュー	H28.1.31	小椋 義則
11部	M. F トライユーン チップ	H26.7.25	関口 真也

グラントチャンピオン：「グラントデールアストロルデイーロイ」北広島市 岩田 政彦さん
リザーブグラントチャンピオン：「インビジブルファイバーレイブン」清水町 （有）田中牧場

JA宗谷南女性部

視察研修

5月15日～16日の2日間で、女性部視察研修が行われ、部員14名が参加し北広島市にあるホクレンくるるの杜、千歳市にある北海道キッコーマン(株)を訪問しました。

ホクレンくるるの杜では、新鮮な農畜産物や道内各地の加工品を販売している直売所や野菜料理にこだわった農村レストランで舌鼓を打ちました。

北海道キッコーマンは、醤油の製造工程や江戸時代に使用していた道具、北海道限定商品などの見学を行い、実際に醤油の色・香りの違いを体感してきました。

2日間の研修旅行を通して、例年9月・10月に実施していた研修を、5月に変更し初めての試みではありましたが、日々の疲れを忘れることが出来、とても有意義な視察研修となりました。



JA宗谷南青年部

食育活動

5月29日、音標保育所で青年部による食育の為に紙芝居が行われました。

紙芝居は、「みんなのミルクジャパン」という題材で生乳生産を通じて、子供たちに食の大切さを伝え、考えてもらうのが趣旨です。

紙芝居終了後は、みるきいちゃんより牛乳等が配られ、貰った子供たちはすごく喜んでいました。

最後に、「幸せなら手を叩こう」を子供たちと一緒に歌いながら踊りました。

今回の活動を通して、食育の大切さを改めて実感し、今後も酪農を題材に、食育活動を継続し、食の大切さや酪農の素晴らしさを広めていきたいと思っています。



結婚報告

後継者の結婚適齢期を迎える人が増えてきている中、おめでたい話が舞い込んできました。

岡島の三野宮耕一牧場の後継者である尚弘さんと、中島光明牧場長女の瑞希さんがご入籍されました。

お二人の家は近所ですが、年が離れていることもあり、お互いの存在を意識することとはありませんでしたが、共通の友人と食事に行ったのをきっかけに急接近、尚弘さんのアタックにより交際がスタートしました。

尚弘さんは、「天然な所があるが、何事にも動じない所」、瑞希さんは、「普段は冷たいけど、時々見せる優しさ」と、頼りがいがある所とお互いの好きな所を教えてくださいました。

将来は、子供を3人ほしい事と、1000tの出荷乳量を目指しこれからは二人で頑張りますと今後の意気込みを語ってくれました。



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお
伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイ
トをご覧ください。

JA北海道中央会

JA全中は政策決定のプロセス変化を踏ま
え、夏前に政策確立に係る取組みを強化する
方向を示し、本年は6月7日に与党政策責任
者に対して全国段階の政策提案を実施しまし
た。JAグループ北海道では全国大会に先立
ち、道内選出与党国会議員に対してJA北海
道大会決議の着実な実践を通じて自己改革
の進展に向け、課題となる准組合員の事業利
用の維持、会計監査人監査への移行に伴う負
担への配慮、中央会の連合会移行に伴う税制
に関する所要措置など、農協組織基盤対策に
関する意見交換を通じ、JA・組合員の負担
増につながらない仕組みの構築について政策
提案を実施しました。

JA北海道信連



JAバンク北海道は、
認知度向上と地域活性
化の観点から、6月12
日のファイターズ公式
戦を、JAバンク北海道
スペシャルナイターとし
て開催し、来場者にフ
ァイターズとコラボした
オリジナルクリアファイ
ルを配布しました。JA
バンクイメージキャ
クターの松下奈緒さん
が始球式を務め、ちょ
リスがYMCAダンスを
踊るなど、試合を大い
に盛り上げました。



ホクレン



ホクレンは、社会・地域貢献活動「シーズプ
ロジェクト」の一環として、児童養護施設の子
どもたちに北海道日本ハムファイターズの試
合を通じて元気と勇気を感じ、地元・北海道
への愛着を持つてもらうと、児童養護施設
8施設に札幌ドームでの観戦チケット計200
枚と限定ユニホームをプレゼントしました。こ
の取り組みは、
2013年から継続して実施して
おり、今年で6年目になります。



JA共済連北海道



JA共済連は、北海道交通安全協会に対し、
飲酒運転撲滅うちわ5万本を始め、交通安全
旗・交通安全のぼりを寄贈しました。「全道
小・中学生交通安全ポスターコンクール」20
17年度入賞作品が掲載されたうちわは、全
道各地の夏祭りやビアガーデンなどのイベン
ト会場で配布される予定です。
このような活動で地域住
民の交通安全意識の高揚を
図り、安心と安全の地域づ
くりに貢献してまいります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民
の皆様の生命と健康を守
るため、本会事業の積極
な啓蒙推進を図ることを
目的として、広報誌「すま
いる」を発行しております。
年3回発行しております。
様々な医療・健康情報を発
信しております。

ホームページにもバック
ナンバーを掲載しておりま
すので、是非ご一読くださ
い。



公共育成牧場

夏季放牧開始

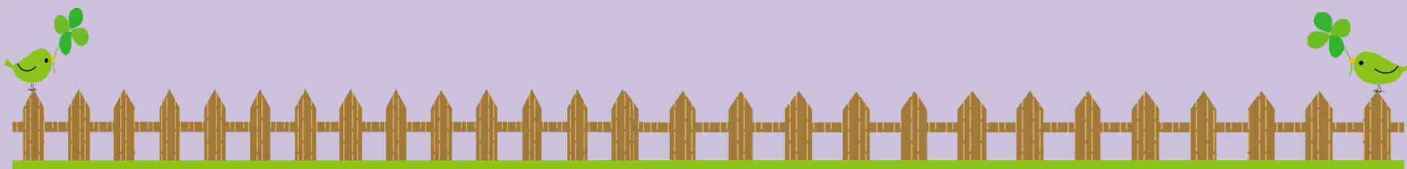


5月25日、公共育成牧場の夏季預託一斉入牧が行われました。

町内若手酪農家、町職員、農協職員、アグリサポート枝幸従業員等が作業にあたり、酪農家25戸から、247頭を搬入しました。一端、牧場の待機場へ運ばれ、体重測定や、個体識別番号の確認を行った後、放牧地へと運ばれました。

また、5月30日には舍飼預託されていた380頭が放牧地へ放たれ、元氣一杯に走り回っていました。

10カ月齢〜20カ月齢の育成牛が秋には、50kg〜100kg増体し、妊娠牛となった育成牛たちは、元の酪農家へ戻り、搾乳される事となります。



経済部 春の大感謝祭



4月28日に開催された感謝祭は、園芸用品を始め、農薬・酪農資材、中古車の車両販売、家電製品、タイヤ等の販売、展示を行いました。

この感謝祭は、組合員皆様を始め、一般のお客さんにも多くの来場を頂き誠に有難うございました。秋にも感謝祭を開催する予定です、多くの方々のご来店をお待ちしております。

また、今後も様々な取り纏めに取り組んで参りますので、ご利用、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

編集委員

村田 太
野澤 希
川合 直樹
滝口 直也
森川 忠幸
高本 等
浦谷 正憲



牧草収穫は、農作業事故に十分注意して、怪我の無いようお願い致します。